

令和7年度 公共事業再評価調書

1. 事業説明シート

(区分) 国補 ・ 県単

事業名		街路事業〔緊急街路整備事業（国補）〕		事業箇所	甲府市 千塚	地区名	（都）高畑町昇仙峡線（Ⅱ期工区）		事業主体	山梨県
計画期間	当初計画		現計画	変更計画		④特記事項（関連事業概要等） （主）甲府昇仙峡線（山宮Ⅰ期）L=780m・H16～R1・事業費23.4億円 （主）甲府昇仙峡線（山宮Ⅱ期）L=420m・R1～R7・事業費12.0億円 （都）高畑町昇仙峡線（Ⅰ期）L=618m・H22～H30・事業費19.5億円				
	R1～R7		～	R1～R13						
総事業費		1,440 百万円		— 百万円		1,800 百万円				
（１）事業の概要										
①事業目的及び効果 （都）高畑町昇仙峡線は、甲府市高畑を起点とし、甲府市山宮へ至る延長約7.3kmの幹線道路で、整備事業が進められている新山梨環状道路(仮)牛句ICと、甲府中心市街地を結び、県内道路ネットワークを構成する重要な路線である。現在は車道幅員が2.75mと狭く、歩道也未整備であるため、朝夕に渋滞が発生するとともに、近接する小中学校に通学する児童・生徒等も危険な状況である。このため、ICと中心市街地のアクセス性向上を図るとともに、歩行者・自転車の安全確保のため、道路改良工事及び電線類の地中化を実施する。										
□主要目標 ○生活圏中心都市・拠点機能へのアクセス向上 混雑時走行速度29.4km/h≦30.0km/h※ 自動車交通量7,979台/12h(H27セカ)≧3,428台/12h以上※ ※評価基準値										
□副次目標 ○歩行者等の安全性の確保、災害に強い道路の確保 歩行者・自転車交通量192人台/12h≧93人台/12h以上※ 通学路の指定有り、歩道なし<1.4m未満※ 危険箇所・老朽箇所なし、第2次緊急輸送道路 ※評価基準値										
□副次効果 ○バリアフリー化の促進（歩行者・自転車が安全通行可能な幅員確保） ○緊急時の避難・救助機能の確保（緊急輸送路の整備）										
②事業概要 道路改良、電線共同溝 L=320m、W=6.0(16.0)m										
③全体計画										
		令和6年度まで		令和7年度 （評価実施年度）		令和8年度以降				
現計画	工事内容	測量及び道路設計 用地取得・補償 道路改良工事 電線共同溝工事		道路改良工事 電線共同溝工事						
		事業費		事業費						
変更計画	工事内容	測量及び道路設計 用地取得・補償 道路改良工事 電線共同溝工事		用地取得・補償 道路改良工事 電線共同溝工事		用地取得・補償 道路改良工事 電線共同溝工事				
		事業費		事業費		事業費				
		1,235 百万円		205 百万円						
		1,376 百万円		52 百万円		372 百万円				

※現計画欄は計画値、変更計画欄は前年度までは実績値、当年度以降は計画値を記入。

⑤これまでの評価状況
なし

（２）事業位置図等

凡例

- 今回事業評価区分間(街路)
- 整備中区分間(道路)
- 整備済区分間(街路、道路)

2.評価シート（1）																																																																																	
（1）事業を巡る社会経済情勢等の変化 （今回の再評価で変更がある場合、変更事項を説明するために必要な内容）		（2）評価時点の費用対効果分析																																																																															
①地域・住民の意向状況 なし ②産業・経済情勢 労務費・建設資材費の上昇 ③国等の方針 なし ④上位計画・関連事業計画等 「山梨県総合計画」（令和5年10月） 「山梨県強靱化計画（改訂版）」（令和6年3月） 「山梨県社会資本整備重点計画（第四次）」（令和4年9月） 「山梨県道路の整備に関するプログラム」（令和7年3月） ⑤自然環境条件等 なし ⑥その他 なし		<table><tr><th colspan="2">項 目</th><th colspan="2">着手時点</th><th colspan="2">変更計画時点</th></tr><tr><td colspan="2">総事業費</td><td>1,440</td><td>百万円</td><td>1,800</td><td>百万円</td></tr><tr><td colspan="2">工 期</td><td colspan="2">R1～R7</td><td colspan="2">R1～R13</td></tr><tr><td rowspan="9">経 済 効 率 性</td><td>評価基準年</td><td colspan="2">H30</td><td colspan="2">R7</td></tr><tr><td rowspan="4">費用</td><td></td><td>950</td><td>百万円</td><td>1,670</td><td>百万円</td></tr><tr><td>建設費</td><td>920</td><td>百万円</td><td>1,640</td><td>百万円</td></tr><tr><td>維持管理費</td><td>30</td><td>百万円</td><td>30</td><td>百万円</td></tr><tr><td>その他()</td><td></td><td>百万円</td><td></td><td>百万円</td></tr><tr><td rowspan="5">便益</td><td></td><td>1,865</td><td>百万円</td><td>2,385 (2285)</td><td>百万円</td></tr><tr><td>走行時間短縮</td><td>1,530</td><td>百万円</td><td>1,900</td><td>百万円</td></tr><tr><td>走行費用減少</td><td>80</td><td>百万円</td><td>270</td><td>百万円</td></tr><tr><td>交通事故減少</td><td></td><td>百万円</td><td>15</td><td>百万円</td></tr><tr><td>その他※</td><td>255</td><td>百万円</td><td>200 (100)</td><td>百万円</td></tr><tr><td colspan="2">B／C</td><td>2.0</td><td></td><td>1.4 (1.3)</td><td></td></tr></table> 費用便益比（B/C）は1.0を超えており、経済効率性は確保されている。 ※ その他は、救急救命率向上便益、観光客増加便益、都市空間快適性向上便益。 救急救命率向上便益の対象範囲は「甲府市山宮地区～甲斐市下菅口地区」 括弧書きは救急救命率向上便益の対象範囲を「甲府市山宮地区のみ」とした値。 出典：費用便益分析マニュアル			項 目		着手時点		変更計画時点		総事業費		1,440	百万円	1,800	百万円	工 期		R1～R7		R1～R13		経 済 効 率 性	評価基準年	H30		R7		費用		950	百万円	1,670	百万円	建設費	920	百万円	1,640	百万円	維持管理費	30	百万円	30	百万円	その他()		百万円		百万円	便益		1,865	百万円	2,385 (2285)	百万円	走行時間短縮	1,530	百万円	1,900	百万円	走行費用減少	80	百万円	270	百万円	交通事故減少		百万円	15	百万円	その他※	255	百万円	200 (100)	百万円	B／C		2.0		1.4 (1.3)	
項 目		着手時点		変更計画時点																																																																													
総事業費		1,440	百万円	1,800	百万円																																																																												
工 期		R1～R7		R1～R13																																																																													
経 済 効 率 性	評価基準年	H30		R7																																																																													
	費用		950	百万円	1,670	百万円																																																																											
		建設費	920	百万円	1,640	百万円																																																																											
		維持管理費	30	百万円	30	百万円																																																																											
		その他()		百万円		百万円																																																																											
	便益		1,865	百万円	2,385 (2285)	百万円																																																																											
		走行時間短縮	1,530	百万円	1,900	百万円																																																																											
		走行費用減少	80	百万円	270	百万円																																																																											
		交通事故減少		百万円	15	百万円																																																																											
その他※		255	百万円	200 (100)	百万円																																																																												
B／C		2.0		1.4 (1.3)																																																																													
		（3）これまでの計画変更等の概要																																																																															
		なし																																																																															

評価シート（２）

（４）事業進捗状況及び見込み

①進捗率

別表のとおり。

②進捗率実績が計画と相違している理由

用地取得の遅れや埋蔵文化財本調査が必要になったことにより、進捗に遅延が生じている。

③総事業費の変更内容

変更工種等	事業費増減	変更理由
補償費の増	360 百万円 増	用地調査の結果、補償対象物件の増加により補償費用が増額したため。
合 計	360 百万円 増	

④事業期間の変更理由及び進捗予定

用地取得が遅延したことや埋蔵文化財本調査により、進捗が遅れたため、事業期間を6年延長し、令和13年度の完成を目指す

⑤今後の事業執行における留意点

地権者への補償説明の継続

（５）環境負荷等への配慮

なし

（６）コスト縮減の可能性

なし

（７）代替案立案の可能性

なし

（８）所管部の今後の方針

継続・見直し継続・その他（ ）

（理由）

（都）高畑町昇仙峡線は、道路幅員が狭く、歩道も未整備であったことから、平成16年度から順次整備を進めており、全体の66%が整備完了、残区間についても街路事業、道路事業で整備を推進しているところである。
街路事業については、現在9割程度の用地が取得済みであり、地域の期待も高いことから事業を継続し、変更計画に基づき令和13年度の完成を予定している。

○別表-進捗率（事業費ベース）

算出方法：【上段】現計画の計画事業費／総事業費×100 【中段】現計画の実績事業費／総事業費×100 【下段】変更計画の計画事業費／総事業費×100

単位：％

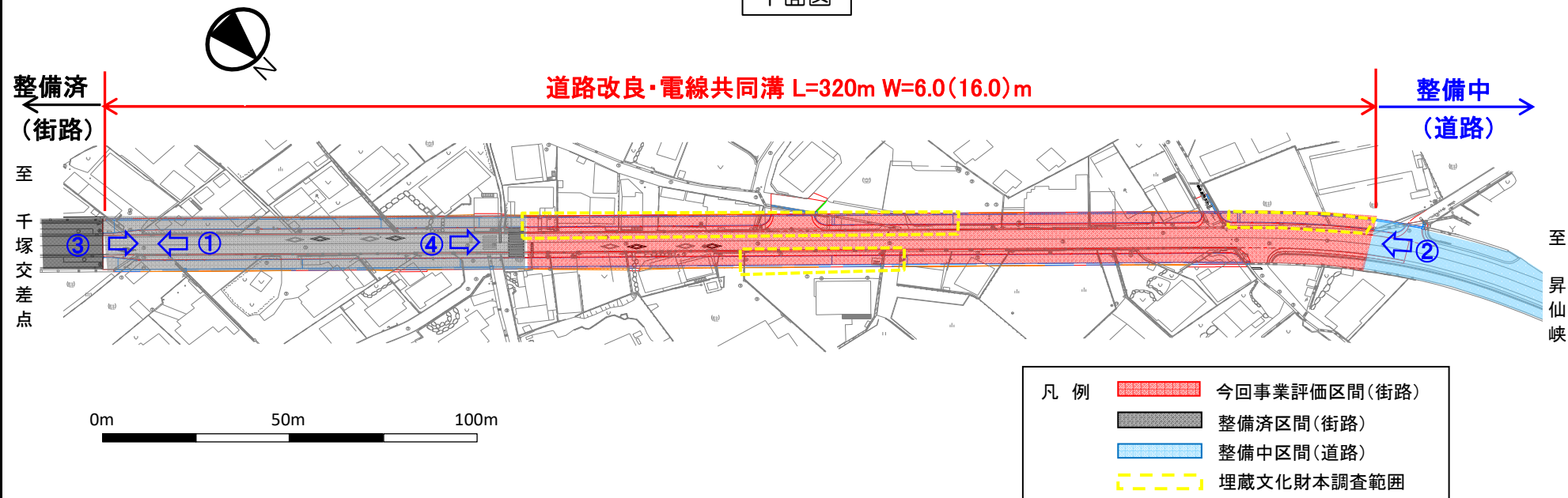
	年度	*R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	
現	計画	11.8	27.4	42.4	57.3	71.5	85.8	100.0							
	実績	6.1	25.8	50.4	66.4	87.6	95.6	99.2							
変更計画									79.3	82.7	86.0	89.3	92.7	96.0	100.0

*事業着手年度又は評価年度

*R7年度の実績は見込み

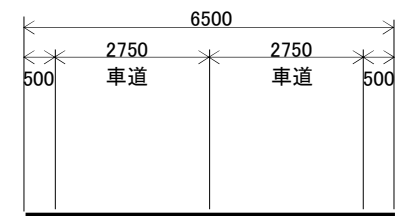
3.添付資料シート（1）

平面図

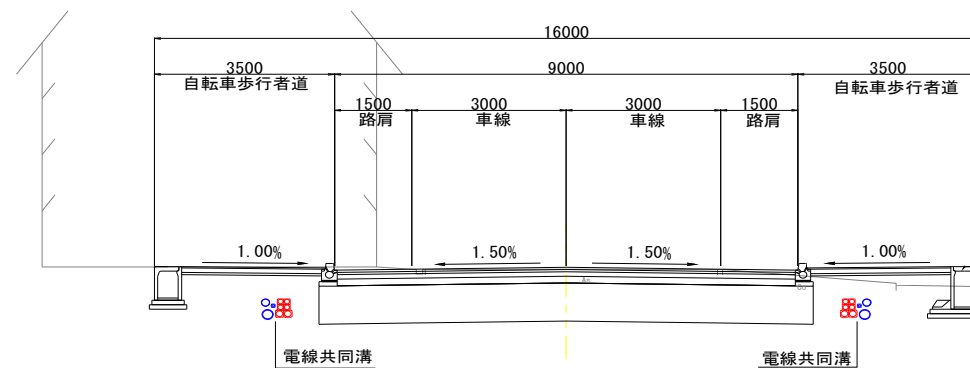


標準横断面図

(整備前)



(整備後)



3.添付資料シート（2）



交通量が多く、歩行者や通学の自転車等も利用するが、路肩が狭く、歩道も未整備のため危険な状況

①整備前の様子



②整備前の様子



③令和7年3月現在の整備状況（起点側）



④令和7年3月現在の整備状況（終点側）

4.年度別事業費内訳表（変更計画の内容）

年度	変更事業費 (千円)	事業概要	進捗率 (%)
R1	88,193	詳細設計・用地調査	4.9
R2	283,320	建物調査・用地補償	20.6
R3	353,627	用地補償	40.3
R4	231,422	用地補償・埋蔵文化財調査	53.1
R5	305,419	用地補償・埋蔵文化財調査・道路改良・電線共同溝	70.1
R6	113,970	用地補償・埋蔵文化財調査・道路改良・電線共同溝	76.4
R7	52,000	用地補償・道路改良・電線共同溝	79.3
R8	60,000	道路改良・電線共同溝	82.7
R9	60,000	用地補償・道路改良・電線共同溝	86.0
R10	60,000	用地補償・埋蔵文化財調査・道路改良・電線共同溝	89.3
R11	60,000	埋蔵文化財調査・道路改良・電線共同溝	92.7
R12	60,000	道路改良・電線共同溝	96.0
R13	72,049	道路改良・電線共同溝・台帳修正	100.0
合計	1,800,000		